

2019 年 10 月 22 日

バイエリア構想

深センに「社会主義先行モデル区」設立へ(1) ～「特区」から「モデル区」へ「改革開放の再出発」～

香港、マカオ、広東省との協力強化を通じて世界一流のバイエリアを目指す「広東・香港・マカオグレーター・バイエリア」(以下、グレーター・バイエリア)構想。グレーター・バイエリアの構成都市の一つである深圳市について、中国共産党中央委員会と国務院は 8 月、『中国の特色ある社会主義先行モデル区の深圳への設立支援に関する意見』(以下、『意見』)¹を公表しました。これまで共産党中央が一地方の計画を発表したのは河北省雄安新区のみとされ、『意見』は「中央が深圳に与えた最高規格の文書」といわれ注目されています。本稿では「社会主義先行モデル区」の概念が提出された経緯、『意見』の主な内容を概観します。

■「経済特区」から「社会主義先行モデル区」へ

「深圳市」が誕生したのは、中国が改革開放政策に舵を切る方針を決めた 1978 年の翌 1979 年。当時の宝安县が深圳市に改名されました。深圳市はその後、1980 年に「経済特区」となり、改革の「実験場」として、対外開放の「窓口」として改革開放政策を主導し、急激な成長を遂げてきました。

2012 年 12 月、習近平総書記が総書記就任後、最初の地方視察先を選択したのは深圳市でした。そして、中国の改革開放 40 周年を前にした 2018 年 10 月、改革開放政策の象徴とも言える深圳市に総書記として 2 度目の視察を実施。その直後の同 12 月、深圳に関する講話を発表し、過去 40 年を総括したうえで、今後の方向性として「社会主義先行モデル区」の概念を提出しました(図表 1)。

図表 1: 深圳に関する習近平総書記の講話

- イノベーション主導の発展戦略の実施を深める
- グレーター・バイエリア建設の重要なチャンスを掴む
- コアエンジン機能を強化する
- 中国の特色ある**社会主義先行モデル区**設立に向けて進む
- 社会主義現代化強国の都市モデルの創設に努める

■改革開放の再出発

中国は改革開放 40 周年を迎えた昨年以降、「改革開放の再出発」というスローガンを掲げ、「社会主義先行モデル区」も「改革開放の再出発」の一つに位置付けています。

今回発表された『意見』では、『意見』の策定目的について、「習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想及び習近平総書記の深圳工作に関する重要講話並びに指示の実施を貫徹する為」と明記。図表 1 の講話の内容を全て『意見』の序章の「总体要求」に盛り込み、「社会主義先行モデル区」の設立を支援する方針を示しました。

図表 2: 社会主義先行モデル区設立の意義

- 中国が新時代に突入するなか、改革開放の窓口として成長してきた深圳の一段と高い目標に向けた改革開放の推進に資すること
- 広東・香港・マカオグレーター・バイエリア構想のより良い実行に資すること
- 「一国二制度」の実践をより豊かにすること

(出所)『中国の特色ある社会主義モデル区の深圳への設立に関する意見』に基づき作成

¹ 原文は 8 月 9 日付となっていますが、新華社を通じて対外的に公表したのは同 18 日です。

「社会主義先行モデル区」設立の意義に関しては、「中国が新時代に突入する中、改革開放の窓口として成長してきた深圳の一段と高い目標に向けた改革開放の推進に資する」、「広東・香港・マカオグレーター・ベイエリア構想のより良い実行に資する」等を挙げています(図表 2)。

■戦略的位置付けと発展目標

「社会主義先行モデル区」の戦略的位置付けは、「質の高い成長の重要拠点」等の5つを列挙(図表 3)。発展目標は、2025 年、2035 年、今世紀半ばの3段階に分けて設定しています(図表 4)。戦略的位置付け、発展目標のキーワードの一つは「イノベーション」で、戦略的位置付けでは、「質の高い成長の重要拠点」に向けて、イノベーション主導の発展戦略実施が挙げられています。また、発展目標では、「産業イノベーション力で世界一流」(2025 年)、「イノベーション型都市を構築」(2025 年)、「世界に影響力があるイノベーション都市」(2035 年)、「イノベーション力が卓越した世界のモデル都市」(今世紀半ば)等の内容が盛り込まれ、イノベーション重視の姿勢が垣間見られます。

図表 3: 戦略的位置付け

質の高い成長の重要拠点	● イノベーション主導の発展を実施する
	● 現代的経済システムを構築する
法治都市モデル	● 全国に先駆けて質の高い成長の体制・メカニズムを構築する
	● 法治レベルを全面的に引き上げる
	● 法治により政府と市場の境界線を規定する
都市文明モデル	● 安定、公平、透明、予測可能な国際的に一流な 法治的ビジネス環境を創設 する
	● 社会主義の核心的価値観を実践する
市民生活の幸福都市モデル	● 良質で均衡の取れた公共サービス体系を構築する
	● すべてをカバーし且つ持続可能な社会保障システムを構築する
持続可能な発展の先行エリア	● 環境にやさしい生産拠点や生活空間を整備する

図表 4: 発展目標

2025 年	● 経済の実力においても、成長の質においても、ともに世界の都市の中で上位を目指す
	● 研究開発投資を強化し、 産業イノベーション力で世界一流 を目指す
	● 現代的、国際的なイノベーション型都市を構築する
2035 年	● 質の高い成長において 全国のモデル となる
	● 都市総合経済競争力で世界をリードする
今世紀半ば	● 世界に影響力があるイノベーション・創業・クリエイティブな都市 を建設する
	● 競争力、イノベーション力、影響力が卓越した 世界のモデル都市 になる

(出所)『中国の特色ある社会主義モデル区の深圳への設立に関する意見』に基づき作成

(執筆: 株式会社三井住友銀行 コーポレート・アドバイザー本部 香港グループ)

本誌内容に関するご照会は、お取引店までご照会ください。